旭川市立向陵小学校　学校通信　第２号

向陵だより

～「安全・安心で元気な学校」づくりのために～

今年度の重点教育目標

『進んで学び、仲間と共に自律的でより良い生活をつくることができる子どもの育成』

令和５年　５月３１日（水）

つなげていく～運動会での成長を

■　５月２７日（土）、前夜から降雨があったものの天候は回復し、運動会を開催することができました。保護者の皆様には、前後半による開催や観覧の方法、熱中症予防、感染症対策等の対応についてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

今年度の運動会は、「くいのない　全力で　正々堂々　向陵っ子」のテーマの下、学年や学級、個人のめあての達成に向けて子どもたちが一所懸命に取り組んできた成果が、様々な場面で見られました。特に５年生と６年生は自分たちの競技に加え、係活動にも取り組み、前後半を通して活躍しました。ご来場いただいた皆様の目にも、お子様はもちろん、向陵っ子の頑張る姿がしっかり映っていたことと思います。

子どもたちは、これまでの取組や総練習等で学年や学級、同じ組（赤白）の応援や拍手、声掛けから大きな力をもらっていました。そして、当日は更に、ご来場いただいた皆様からも大きな力を与えていただきました。向陵っ子への温かい拍手とご声援に、心より感謝いたします。また、子どもたちと皆様の笑顔が会場にあふれ、とても幸せなひとときを共有することができ、心よりうれしく思います。ありがとうございました。

■　新学期が始まってから約２か月となりますが、向陵っ子は学級や学年の仲間と共に勉強をし、共に遊ぶ等、学校で仲間との時間を大切に過ごしています。子どもたちは学校で多くのことを体験し、学び、振り返る中で様々な力を身に付けていきます。仲間の姿や言葉等から、自分と異なる考え方や新しい見方を学ぶことができます。仲間とけんかをしたり、言い合いになったりすることをとおして自分を見つめ直し、改善しようとすることもできます。相手を尊重する気持ちや思いやる心の成長も、期待できます。

今後も、すべての向陵っ子が仲間と共に、自律的でよりよい生活をつくることを大切にしながら、健やかに成長していくように、目を離さずに見守り、子ども一人一人の心に寄り添い、きめ細やかな学習と生活指導の充実に引き続き努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

乳児は、肌を離すな。
幼児は、肌を離して手を離すな。
少年は、手を離して目を離すな。
青年は、目を離して心を離すな。

岩出雅之氏（元帝京大学ラグビー部監督）の言葉

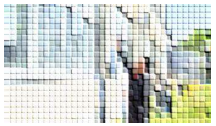
史上初の大学選手権９連覇を達成した帝京大学ラグビー部。優勝経験のなかったチームを、様々な困難を経て育て上げてきたのが、岩出氏です。

きれいになりました

■　５月２０日（土）午前中、ＰＴＡ主催による奉仕作業が行われました。保護者の皆様や子どもたち、教職員を合わせて６０名を超える参加者が、プールの清掃と草取り・校舎１階の外窓洗い・児童玄関の窓拭き・グラウンドの草取りと石拾い等に、汗を流しました。

おかげさまで、子どもたちが気持ちよく学習するための環境を整えていただくことができました。また、作業前に　　副会長から参加者へ向けてお話しいただいた「会員相互のコミュニケーションを図る」ことも達成され、とても良い時間になりました。

お休みの中、作業にご協力いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。ありがとうございました



交通安全に気を付けて

■　日没時刻が遅くなり、放課後の遊ぶ時間や自転車に乗る機会が増えています。学校では、「自分の命は自分で守る」「危険に気付く力を身に付ける」ために、特に交差点や道路を横断するときの安全確認やスピードを出し過ぎないこと等について、繰り返し指導しています。

低学年の子どもたちは、「慣れ」による油断が心配です（警察庁の統計によりますと、６月は特に低学年の事故件数が多いようです）。高学年の子どもたちは、「これくらい大丈夫」という過信が、事故のもとになります。

ご家庭でも、自転車の乗り方や交通ルールについての指導に加え、“ヘルメットの着用”にできるだけご協力をお願いいたします。

もし、スピードの出し過ぎや片手運転等、危険な乗り方をしている向陵っ子がいましたら、一声掛けてやめさせてください。よろしくお願いいたします。

日	曜	６月の行事予定

※行事予定は変更になる場合があります。

よりよい生活を目指して

■　５月１１日（木）の児童総会で、今年度の児童会活動について各委員会の委員長が提案をし、全体（４年生以上）で確かめ合いました。

カウンセラーによる教育相談室

■　子ども本人の困りごと、保護者の皆様の子育てに関する悩みごと等について相談を受けることができる「教育相談室」を、今年度も開設しています。

相談のご希望やお問合せは、学校（特別支援教育コーディネーター　　５１－５４８８）までご連絡ください。

［１学期の開設予定］・
・

← ヤングケアラーについて（道教委）